

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALOTM



メルコグループ

Business Report 2017

2016.4.1 — 2017.3.31

高い技術力で、安心と喜びを。 中期ビジョン 「ゲートウェイ2.0」スタート。

株式会社メルコホールディングス
代表取締役会長
牧 誠



日刊現代提供

IoT時代のネットワーク・インフラを支える企業として

メルコグループは、バッファローを中核企業とし、デジタル家電及びパソコン周辺機器市場において強固なブランドを築いてまいりました。無線LANや外付けHDD、NASをはじめとする各種デジタル製品群ではシェアNo.1という市場からの高い支持をいただいております。こうした実績を背景に、2017年3月期から、5ヶ年の中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」をスタートしました。本格化するIoT(Internet of Things:モノのインターネット)時代において、「誰もが簡単に、安心してインターネットに接続でき、データを保存・再生できる喜び」のために、社会全体に安心ネットワークを提供できるよう、事業活動を推進しております。変化の激しい家電・PC業界の中、この中期ビジョンを円滑に推進していくためのサービス拡充や製品開発に取り組み、さらに新規販路開拓などの販売改革に注力してまいります。

利益体質を保ちながらより強靱な経営基盤を構築

当期におけるデジタル家電業界は、スマートフォン市場が堅調に推移する一方で、薄型テレビ市場及びタブレット市場は低迷するなど、厳しい状況が続きました。

こうした状況下において、メルコグループは経営基盤をさらに強靱にする取り組みを推進しました。具体的には、賃貸集合住宅向けインターネットサービス「アパートWi-Fi(※)」に関わる営業スタッフを増員し導入数拡大に努め、前年同期比約350%の売上増を達成しています。同時に、個人向け市場においては高付加価値製品の販売拡大に注力、法人市場では販売戦略・施策立案などを集中して行う体制を整えました。特に、文教・観光関係に強いパートナー様の支援と関係強化を、積極的に行いました。

その結果、当期の業績は、売上高745億58百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益55億73百万円(同28.0%増)、経常利益65億20百万円(同23.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益43億89百万円(同17.5%増)となりました。

※Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

新たな資本政策と成長投資で さらなる発展と持続的な成長を

メルコグループは新たな資本政策を策定し、長期的な株主価値の向上に取り組んでおります。成長に向けた投資と安定した株主還元を両立し、「総還元性向80%」と「一株当たり純利益の長期的成長」を目指していきます。

新たにスタートしたデータ復旧事業強化のために、高い技術力を持つアドバンスデザイン株式会社を子会社化するなど、収益安定化・販売力強化の基盤も固めております。

来期の業績予想は、世界情勢が混迷し為替相場や部材調達の先行きが不透明であり、現時点では業績予想に伴う未確定要素が多いため、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

メルコグループは、引き続き中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」の下、さらなる発展と持続的な成長を続け、千年企業への道を歩み続けてまいります。

メルコバリュー

■ 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの持続的な成長を目指します。

■ 顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

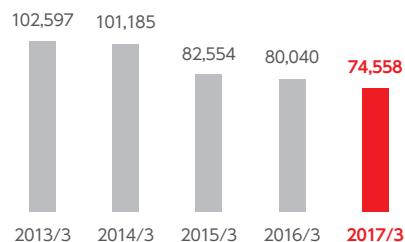
■ 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

■ 一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

連結売上高 (単位：百万円)



連結経常利益 (単位：百万円)

連結売上高経常利益率 (単位：%)

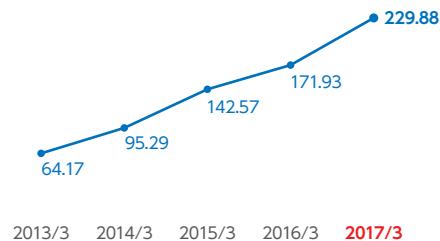


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位：%)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

IoT(モノのインターネット)時代の
社会全体での安心ネットワークを提供



パブリックスペースで
Wi-Fiに
「つながらない」
「つながるのが面倒」
「つながるのが怖い」をなくす

パブリック
ゲートウェイ
ソリューション
Public gateway solution

家庭内でWi-Fiが
「つながらない」
「つなげられない」
「つながらなくなった」をなくす

ホーム
ネットワーク
イノベーション

Home network innovation

IoT

(Internet of Things)

世の中のさまざまなモノが
インターネットにつながる時代

データ
ストレージ
最適化ソリューション
Data storage optimization

Data storage optimization



大事なデータが
「消失した」
「消失が怖い」
「再生できない」
「使えるが遅い」をなくす



メルコグループはこれまで培った技術・ノウハウを活用し、
新たな分野へのソリューション事業を展開していきます。

「データ復旧サービス」をスタート

データの復旧から消去、故障機器の廃棄まで、ワンストップで対応

保証期間内の軽度の
論理障害は無償対応

対象製品と障害レベルに
応じた固定料金制

診断、見積りは
無料

「パソコンに保存したデータが消えてしまった!」「外付けHDDやUSBメモリーからデータが取り出せない!」といったトラブルに対応するデータ復旧事業を開始しました。診断や見積りは無料、障害レベルなどに応じた固定料金制とし、サービスを安心して利用いただけます。対象製品は、当面はバッファロー製品となりますが、将来的には他社製品にも対応する予定です。



データがこわれた!!



修理



無事復旧!!

より快適に、いっそう使いやすく、
お客様の生活やビジネスをサポートしていきます。

周辺機器

ネットワーク製品

パソコンやスマートフォンなどでのデータ共有や、インターネット接続を可能にする製品。Wi-Fi環境が学校教室、観光地などで一般化する中、通信の安定性を実現し快適なWi-Fi環境を提供する製品の開発を強化しています。



Wi-Fi
ルーター



法人向け
アクセスポイント



外付けハードディスク



法人向けNAS



プレミアムフィットマウス



USB充電器

ストレージ製品

データを保存する記憶装置。テレビ録画用途に適したデザイン、高信頼のハードディスクを搭載した外付けハードディスクや遠隔地からネットワーク監視できる機能を搭載した法人用NASなど、高信頼高性能を実現した製品を提供しています。

サプライ・アクセサリ製品

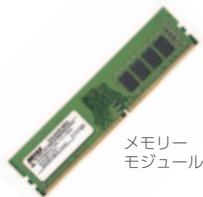
マウス、キーボードなどの入力機器をはじめ、タブレット用アクセサリをラインナップ。iPhone[®]（※1）やAndroidを自動判別する機能を搭載したUSB充電器など、使い勝手の良い製品の開発に注力しています。

メモリー製品

ノック式コネクタを採用し、パソコンから抜き取る際に自動的にコネクタが収納される機能を搭載したUSBメモリーなどの付加価値の高い製品のほか、産業用組込み用途では信頼性の高いDDR4対応製品など法人向け製品の開発を強化しています。



USB
メモリー



メモリー
モジュール

その他

パソコン自作ユーザーに人気のPCパーツブランド「玄人志向」、写真をデジタルで楽しむデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源を保存する専用のデジタルミュージックライブラリーなど、PCテクノロジーを応用したさまざまな製品群を提供しています。



おもいでばこ



デジタルミュージックライブラリー

※1 iPhoneは、米国Apple Inc.の商標です。

サービス



アパートWi-Fi

個人・法人・アパートオーナーなどを対象にさまざまなサービスを展開。訪問設定から保守サービスまで、利用者に合わせたサポートを拡充。賃貸集合住宅向けインターネットサービス「アパートWi-Fi」は事前調査から保守までトータルでサポートします。さらに建築現場などの短期利用向けのNAS・監視カメラレンタルサービス「BITSレンタル」を行うなど、自社のサービス拡大に努めています。



金融

金融事業は、投資運用業や金融商品仲介業を行っています。



BCN AWARD
2017 (2016年1月~12月)

14部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に基づくAWARDです。

無線LAN
部門

15年連続
15回目



NAS
部門

4年連続
4回目



外付けHDD
部門

9年連続
14回目



ルーター
部門

14年連続
15回目



■ HUB部門	16年連続	17回目
■ LANカード部門	18年連続	18回目
■ プリントサーバー部門	17年連続	17回目
■ 記録型DVDドライブ部門	9年連続	9回目
■ メモリー部門	8年連続	16回目 (※2)
■ 拡張インターフェース部門	14年連続	14回目 (※3)
■ PC電源部門	6年連続	6回目
■ ドライブケース部門	7年連続	9回目
■ グラフィックボード部門	14年連続	14回目
■ ゲームコントローラ部門	初受賞	

※2 メルコグループとして。CFD販売としては6年連続6回目。

※3 メルコグループとして。CFD販売としては8年連続8回目。

GfK Japan Certified
2016 (2016年1月~12月)

3部門受賞

1年間の販売数量シェアの最も高かったメーカーを表彰するものです。

ネットワーク
部門

9年連続
9回目



HDD
部門

9年連続
9回目



DVDドライブ
部門

7回目



連結売上高

(単位：百万円)

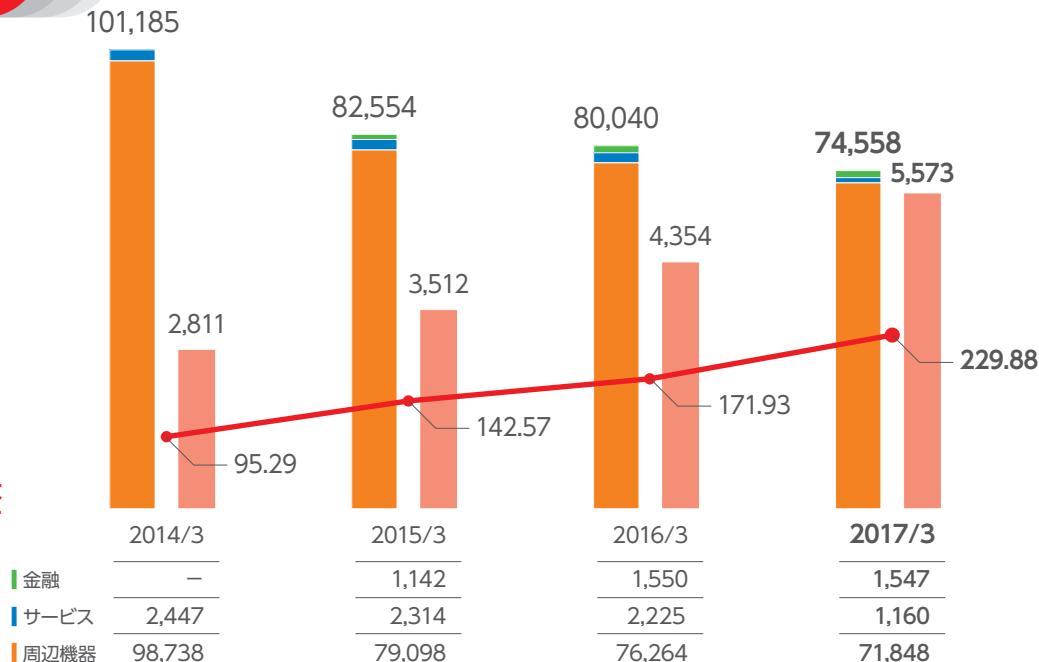
- 金融
- サービス
- 周辺機器

連結営業利益

(単位：百万円) ■

1株当たり純利益

(単位：円) ●

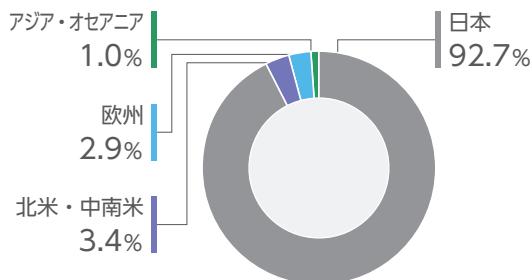


海外売上高 (周辺機器事業)

5,216百万円 **21.7%減** ▼

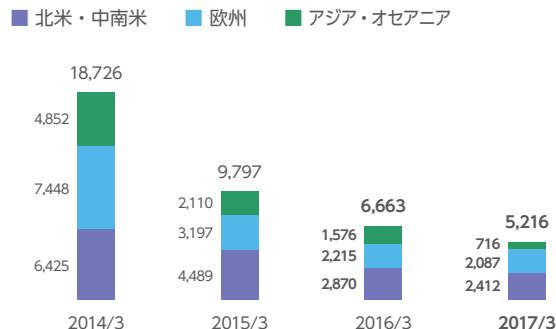
海外事業においては、法人中心の販売網の整備やNAS製品を中心にラインナップの絞り込みを行った結果、売上高は52億16百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

地域別売上高比率 (周辺機器事業)

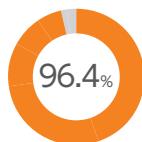


海外売上高推移 (周辺機器事業)

(単位：百万円)



事業別連結売上高



周辺機器

71,848百万円

前年
同期比

5.8%減



周辺機器事業の売上高は、ネットワーク製品の売上が引き続き好調だったものの、その他の主要製品において価格競争激化や不採算製品の販売抑制などの影響を受け、718億48百万円(前年同期比5.8%減)となりました。営業利益は、円高による原価低減効果及び海外での法人を中心とした販売へのシフトなどが奏功し、47億59百万円(同57.7%増)となりました。

主な製品別の状況は、以下の通りです。



【ストレージ】 ストレージ製品では、国内個人向け市場において、テレビ録画用HDDを中心に販売強化に努めました。販売台数は微増するも価格競争による販売単価の下落が影響し、売上高は231億5百万円(同10.2%減)となりました。NAS製品では、国内個人向け市場のトップシェア堅持に努め、法人向けには大容量データの転送時間を大幅に短縮する製品を文教市場に展開するなど、販売拡大を図りました。しかし、シェア縮小などにより、販売台数は前年同期比13.1%減少し、売上高は102億57百万円(同11.1%減)となりました。



【ネットワーク】 ネットワーク製品では、お客様のニーズに合わせた製品開発により無線LANのシェアを伸ばしました。法人向けには、多台数接続時の安定性能を実現した文教向け製品や耐環境性能を持つ製品の販売拡大に注力しました。その結果、販売台数は前年同期比9.1%増加し、売上高は209億84百万円(同8.2%増)となりました。



【メモリー】 メモリー製品では、パソコン用増設メモリー市場の縮小や、産業用組込メモリーの販売不振により、販売台数は前年同期比で38.4%減少し、売上高は29億63百万円(同29.9%減)となりました。フラッシュメモリー製品では、USBメモリーの販売が堅調に推移してシェアを伸ばしました。販売台数は前年同期比で3.7%増加したものの、産業機器向けカスタム製品の販売が減少したことから、売上高は48億1百万円(同11.1%減)となりました。

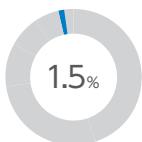
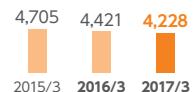
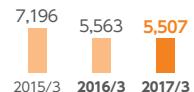


【サプライ・アクセサリ】 サプライ・アクセサリ製品では、感性評価に基づく機能性とデザイン性を備えたマウスや、スマートフォンの種類を判別し最適な急速充電を行うUSB充電器など、高付加価値製品の販売に注力しました。しかし不採算製品整理の影響を受け、売上高は55億7百万円(同1.0%減)となりました。



【その他】 その他製品では、ハイレゾオーディオ機器事業のさらなる展開を図るため「メルコシンクレッツ株式会社」を設立、デジタルフォトアルバム「おもいでばこ」では認知度向上に努めました。しかし、販売終了品の売上減少を補いきれず、売上高は42億28百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

(単位：百万円)



サービス

1,160百万円

前年
同期比

47.8%減



サービス事業では、アパートオーナー向けの賃貸集合住宅向けインターネットサービス「アパートWi-Fi(※)」の導入数拡大に取り組みましたが、普及率の向上に伴い縮小している光回線の代行設定サービスの売上減少を補いきれず、売上高は11億60百万円(前年同期比47.8%減)となり、営業損失は、87百万円(前年同期は営業利益3億42百万円)となりました。



金融

1,547百万円

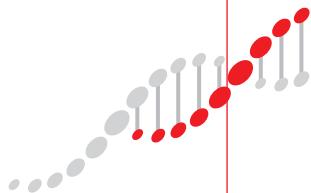
前年
同期比

0.2%減



金融事業では、世界的な市況の厳しさを背景に、売上高15億47百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は8億6百万円(同7.3%減)となりました。

※Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。



Products DNA

快適なICT環境を実現する 文教向け無線LAN

法人向けアクセスポイント
ネットワーク事業部 柴田成儀

児童生徒一人1台のタブレットを使った授業では、全員が同時にファイルの送受信や動画の閲覧を行います。今回の開発では通信の高速化と安定化を目指し、前モデルのデュアルバンド(5GHz+2.4GHz)に対し、さらに5GHz帯を追加してトライバンドとしました。また、各電波帯につなぐタブレット数を効率よく振り分ける「バンドステアリング機能」で、より快適な通信環境を実現しています。そして、気象レーダーなどを検知した際にアクセスポイントが別チャンネルに移動することで無線が止まる問題は「レーダー波監視専用アンテナ」でスムーズなチャンネル移動につなげることで解決しました。他に

も管理機能にもこだわるなど、本格化するICT環境での快適な授業を実現する製品に仕上がったと思います。



WAPM-2133TR

性能とデザインを高い次元で両立した SSD搭載の高速NAS

SSD搭載 NAS
ネットワーク事業部 中島佑樹 / 共通技術部 デザイン課 池上響

これまでのNASとの決定的な違いは、内蔵ストレージにSSDを採用したこと。10Gbpsの伝送速度を持つ10GbEのポテンシャルを最大限に引き出そうとした時、HDDではストレージそのもののスピードがボトルネックになるという課題がありました。SSDを採用したことで転送速度が劇的に向上し、10GbEの恩恵を受けられるようになり、かつ、耐震性や省エネ性も大幅に向上しました。なお、開発時には10種類のSSDと本体を組み合わせて検証し、クセが少なく相性のいいSSDを選定しています。また、ドイツの歴史あるデザイン賞「レッドドット・デザイン賞」を受賞しました。鍵の配置や防塵対策など「サーバールームに置かないNAS」であるというコンセプトが明確にデザインに落とし込まれているという点が受賞の理由です。



TS5210DF

— ものづくりの系譜 —



お客様との二人三脚で 監視カメラのニーズを具現化

監視カメラシステム

ネットワーク事業課 三宅健生 / 開発課 山崎崇司

これまでの監視カメラの多くは、ネットワークの知識が必要な大掛かりなものか、極めて簡易な家庭用と両極端で、小規模店舗やオフィスでは導入しにくいものばかりでした。この製品では「バッファローならではのソリューションの提供」をコンセプトに、企画段階から完成まで地元商店街やオフィスを中心に100件近くヒアリングを重ねました。その答えとして生まれたのが、設置も使用もとにかく「かんたん」な「Surcam(サーカム) CR1000シリーズ」です。LANケーブルをつなぐだけでカメラを作動でき、PCもいらぬ。カメラの台数は2台と4台の2タイプ、「撮る」「見る」に特化し、導入コストも抑えました。バッファローの理念のひとつ「顧客志向」に沿って

ニーズを細かな部分まで取り入れ、お客様と二人三脚で生み出した製品です。



CR1000

お客様の声をもとに 進化を続ける「おもいでばこ」

デジタル・フォトアルバム

新規事業部 マーケティング課 根本将幸

大切なおもいでを家族や友人と「わかちあう」ことを可能にしたデジタル時代の写真アルバム「おもいでばこ」。新モデルとなる5代目「PD-1000Sシリーズ」



は、転送速度とおもいでの持ち運びという点でブラッシュアップを行いました。最も大きな改良点は11acに対応したこと。2.4GHz帯に加えて5GHz帯も利用できるようになり、高速転送とスムーズで安定した通信が可能となりました。新たに追加した「クリップ機能」は、「おもいでばこ」内の写真をアルバム単位でスマートフォンにダウンロードして外出先に持ち出せる機能です。これはお客様からの「おもいでばこに貯めてある写真を外出先でも見たい」という要望に応えたもの。「おもいでばこ」ではこれからもお客様の声をもとに進化を続けていきます。



PD-1000S

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当 期 2017年 3月31日現在	前 期 2016年 3月31日現在
① 【資産の部】		
流動資産	58,712	60,476
固定資産	8,468	4,506
有形固定資産	871	619
無形固定資産	1,271	968
投資その他の資産	6,325	2,917
資産合計	67,181	64,982
② 【負債の部】		
流動負債	21,312	18,671
固定負債	2,512	2,507
負債合計	23,824	21,179
③ 【純資産の部】		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	902	774
利益剰余金	49,595	45,993
自己株式	△8,184	△3,831
株主資本合計	43,312	43,936
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	245	190
繰延ヘッジ損益	△26	△50
為替換算調整勘定	△92	△233
退職給付に係る調整累計額	△83	△40
その他の包括利益累計額合計	43	△133
純資産合計	43,356	43,803
負債・純資産合計	67,181	64,982

POINT

① 資産の部

総資産は671億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億98百万円増加しました。流動資産は587億12百万円となり、17億63百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少3億74百万円、有価証券の減少30億円、商品及び製品の増加16億63百万円によるものです。固定資産は84億68百万円となり、39億62百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の増加33億43百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は238億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億45百万円増加しました。流動負債は213億12百万円となり、26億40百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加18億24百万円、未払法人税等の増加10億71百万円によるものです。固定負債は25億12百万円となり、4百万円増加しました。

③ 純資産の部

純資産合計は433億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益43億89百万円の獲得、配当金の支払7億87百万円、自己株式の取得46億13百万円によるものです。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2016年 4月 1 日 至 2017年 3月31日	自 2015年 4月 1 日 至 2016年 3月31日
売上高	74,558	80,040
売上原価	56,203	62,537
販売費及び一般管理費	12,781	13,148
営業利益	5,573	4,354
営業外収益	1,172	1,000
営業外費用	225	60
経常利益	6,520	5,294
特別利益	0	1
特別損失	28	144
税金等調整前当期純利益	6,491	5,152
法人税、住民税及び事業税	2,116	705
法人税等調整額	△15	711
親会社株主に帰属する当期純利益	4,389	3,735

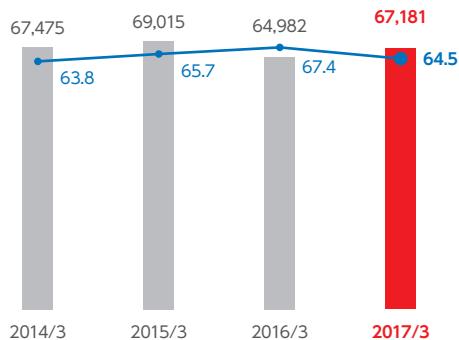
● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	自 2016年 4月 1 日 至 2017年 3月31日	自 2015年 4月 1 日 至 2016年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,487	6,108
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,151	△4,662
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,401	△5,102
現金及び現金同等物に 係わる換算差額	△4	△83
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△69	△3,740
現金及び現金同等物の 期首残高	4,664	8,404
現金及び現金同等物の 期末残高	4,595	4,664

総資産 (単位：百万円)

自己資本比率 (単位：%)



詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

● 株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う
従業員数	22名、メルコグループ連結771名
グループ企業	会社数20社(国内12社、海外8社)

役員 (2017年6月14日現在)	
代表取締役会長	牧 誠
代表取締役社長	牧 寛之
取締役副社長	松尾 民男
専務取締役	斉木 邦明
取締役	津坂 巖
取締役	箕浦 啓進
常勤監査役	續木 政直
監査役	小栗 章雄
監査役	植田 和男

● 株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
資本金	3億20百万円
事業内容	デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売
従業員数	454名

役員 (2017年5月9日現在)	
代表取締役社長	井上 武彦
取締役副社長	松尾 民男
常務取締役	渡邊 泰治
取締役	吉崎 良助
取締役	田中 辰吾
取締役	和田 学
取締役	石丸 正弥
取締役	横井 一紀
監査役	大嶋 健康

事業所	本社	〒460-8315	名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル	TEL.052-249-6610	FAX.052-249-6609
	東京支店	〒104-0033	東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー	TEL.03-3523-3333	FAX.03-3523-3300
	大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル	TEL.050-5533-1250	FAX.06-6398-5755
	北海道営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東一丁目4番1号 サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
	東北営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡四丁目5番22号 宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
	関東営業所	〒104-0033	東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー	TEL.03-3523-3342	FAX.03-3523-3320
	中部営業所	〒460-8315	名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
	中四国営業所	〒730-0015	広島市中区橋本町10番10号 広島インテス	TEL.050-5830-8888	FAX.082-221-8612
	九州営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前四丁目9番2号 YAOJIセンタービル	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755

● シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

● 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守などのサービスを提供

● 株式会社バッファローメモリ

産業用組み込みメモリ・ストレージ製品の開発・製造・販売

● 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

● 株式会社バッファローダイレクト

インターネット通販

● メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

● アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

● メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

● メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

● 〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

● 〈欧州〉 BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

● 〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

製品の調達・管理

● 〈シンガポール〉 Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

● 株式の状況

発行済株式数 22,237,873株 (自己株式3,630,890株含む)
株主数 5,456名

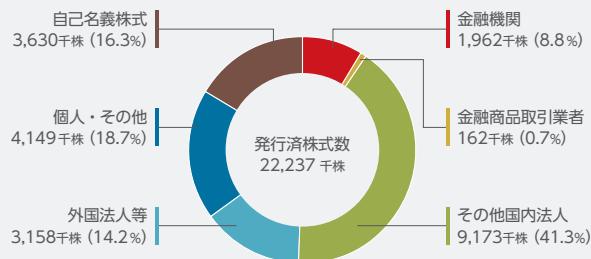
● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マクス	8,485	45.6
牧 誠	630	3.4
牧 寛之	617	3.3
牧 大介	617	3.3
株式会社名古屋銀行	501	2.7
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	265	1.4
GOVERNMENT OF NORWAY	259	1.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	239	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	237	1.3

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

● 所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社バッファロー

本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル
TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609

東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー
TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

● ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



パソコン melco-hd.jp

株式会社バッファロー

メルコグループの中核企業のサイトで製品情報を中心に提供しております。



パソコン buffalo.jp



スマートフォン m.buffalo.jp